

406

日清戦争終末ノ際ニ於ケル三國干渉ニ對スル我政府ノ措置如何ハ實ニ國家ノ安危榮辱ノ上ニ重大ナル關係ヲ有スルモノデアツタ。明治二十八年四月二十四日本件ヲ議スル爲御前會議カ開カレタ。本會議ニ於ケル伊藤總理提議ノ要領ハ(一)假令新ニ敵國増加ノ不幸ニ遭遇スルモ此際斷然露獨佛ノ勸告ヲ拒絶スル乎(二)茲ニ列國會議ヲ招請シ遼東半島ノ問題ヲ該會議ニ於テ處理スル乎(三)此際寧ロ三國ノ勸告ハ全然之ヲ聽容シ清國ニ向ヒ遼東半島ヲ放棄的ニ還付スル乎ノ三策ノ中其ノ一ヲ選ムヘント云フニアツタ。御前會議ノ結論ハ右ノ中ノ第二策即チ列國會議ヲ招請シテ本問題ヲ處理スヘントイフコトニアツタ。

イ藤(イ)イ

大東亞省

IMT 458

407

40

仍テ伊藤總理ハ翌二十五日關舞子ニ於テ養病中ノ陸奥外相ヲ訪ヒ御前會議ノ結論ヲ示シ外相ノ意見ヲ求メタ。陸奥外相ハ之ニ對シ「今茲ニ列國會議ヲ招請セムトセハ對局者タル露獨佛三國ノ外少クトモ尙二三大國ヲ加ヘサルヘカラス而シテ此五六大國カ所謂列國會議ニ參列スルヲ承諾スルヤ否ヤ良シヤ孰レモ之ヲ承諾シタリトスルモ實地ニ其會議ヲ開ク迄ニハ許多ノ日月ヲ要スヘク而シテ日清講和條約批准交換ノ期日ハ既ニ目前ニ迫リ久シク和戰未定ノ間ニ彷徨スルハ徒ニ事務局ノ困難ヲ増長スヘク又凡ソ此種ノ問題ニシテ一度列國會議ニ附スルニ於テハ列國各々自己ニ適切ナル利害ヲ主張スヘキハ必至ノ勢ニシテ會議ノ問題果シテ遼東半島ノ一事ニ限り得ヘキ或ハ其議

大東亞省

IMT 458

408

707

2382

レス慮心坦懐陸奥外相ノ意見ヲ谷レテ國家ノ大事ヲ誤ルコトナカリ  
シ至純ナル忠誠ニ對シテハ深ク敬慕ノ念ヲ禁シ得ナイ。

大東亞省

IMT 458

410

708

2382

論枝葉ヨリ枝葉ヲ傍生シ各國互ニ種々ノ注文ヲ持テ出シ遂ニ下之關  
條約ノ全體ヲ破滅スルニ至ルノ恐ナキ能ハス是レ我ヨリ進ンテ更ニ  
歐洲大國ノ新干涉ヲ導クニ同シキ非計ナルヘシ」(陸奥宗光著「蹇  
蹇録」)トノ理由ヲ以テ御前會議ノ結論タル列國會議招請説ニ斷乎  
反對意見ヲ表明シタ。伊藤總理モ右陸奥外相ノ説ヲ然リト肯定シ新  
ニ協議ノ結果三國ニ對スル問題ト清國ニ對スル問題ノ兩者ヲ確然分  
割シテ彼此相牽連スル所ナカラシムル方針ノ下ニ新措置案ヲ得之ヲ  
聖聽ニ達シテ御裁可ヲ經タ。

大東亞省

IMT 458

409

REEL No. A-1209

氏ノ初集ニ関シテハ  
六甲年教中ニ其意見  
所ニ於テ

REEL No. A-1209

410

2382

極秘

日本國中華民國間同盟條約

IMT 458

411

REEL No. A-1209

アジア歴史資料センター

日本國中華民國間同盟條約

大日本帝國政府及中華民國國民政府ハ

兩國相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ緊密ニ協力シテ道義ニ基ク大東亞ヲ建設シ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ之ガ障害タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ左ノ通協定セリ

第一條

日本國及中華民國ハ兩國間ニ永久ニ善隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講ズベシ

第二條

日本國及中華民國ハ大東亞ノ建設及安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協力シ有ラユル援助ヲ爲スベシ

第三條

日本國及中華民國ハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベシ

第四條

本條約ノ實施ヲ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セラルベシ

A12

第五條

昭和十五年十一月三十日即チ中華民國二十九年十一月三十日開印ノ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ハ其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノトス

第六條

本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本條約ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日 日即チ中華民國 年 月 日 於テ日

本文及漢文ヲ以テ本書各一通ヲ作成ス

二

413

IMT 458

附屬議定書

本日日本國中華民國間同盟條約ニ署名スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ通協定セリ

第一條

日本國ハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ中華民國領域内ニ派遣セラレタル日本國軍隊ヲ撤去スベキコトヲ約ス  
日本國ハ北清事變ニ關スル北京議定書及關係書類ニ基ク駐兵權ヲ拋棄ス

第二條

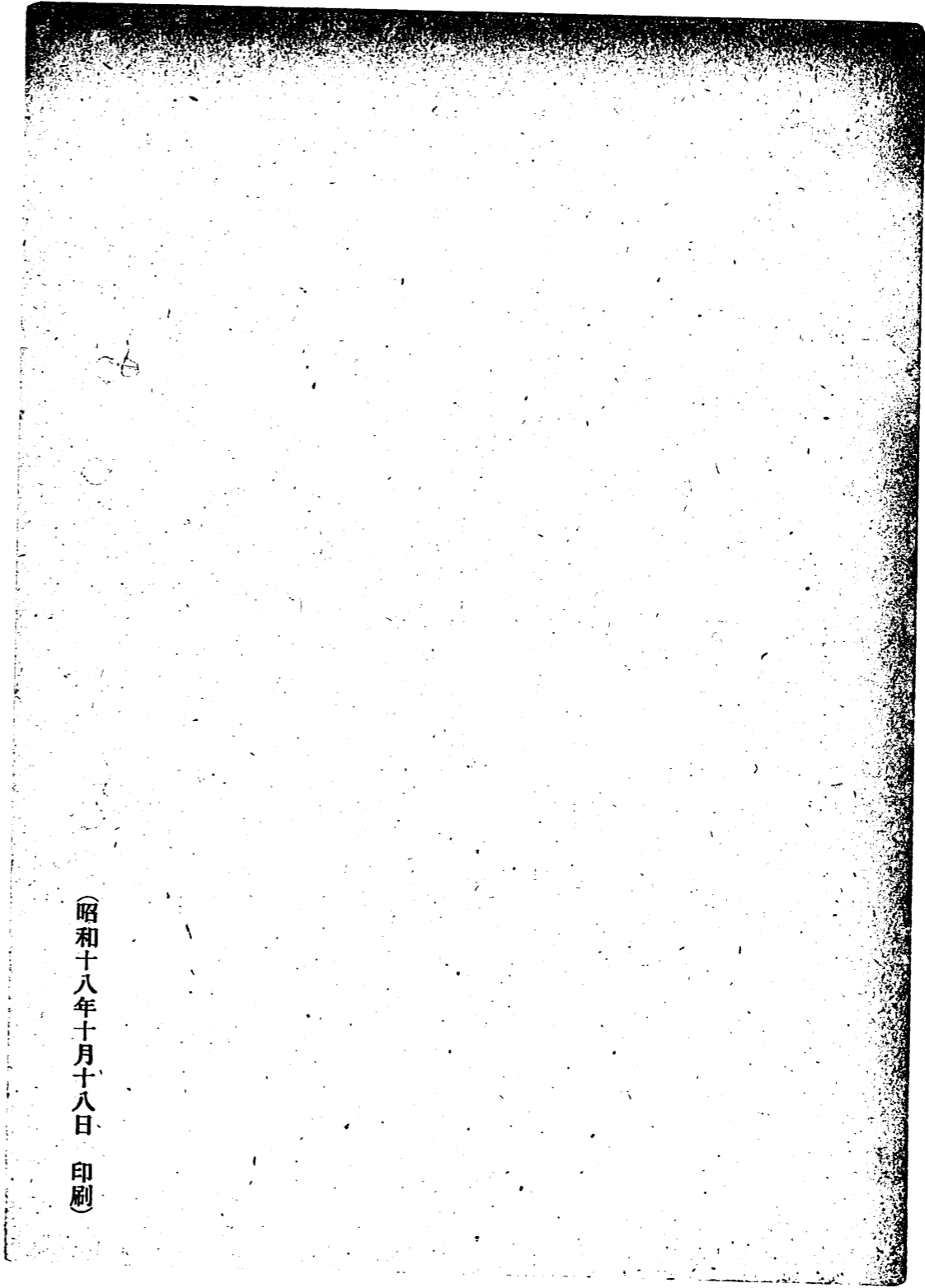
本議定書ハ條約ト同時ニ實施セラルベシ

右證據トシテ兩國全權委員ハ本議定書ニ署名調印セリ

昭和 年 月 日 日即チ中華民國 年 月 日 於テ日  
本文及漢文ヲ以テ本書各一通ヲ作成ス

IMT 458

414



昭和十八年十月十八日 印刷

REEL No. A-1209

0225

アジア歴史資料センター

443

2382

極秘

交  
換  
公  
文

INT 458

415

REEL No. A-1209

0226

アジア歴史資料センター



454

2382

(來翰譯文)

以書翰啓上致候陳者本日中華民國日本國間同盟條約ニ署名スルニ當リ本官ト閣下トノ間ニ左ノ了解成立致候

現ニ中華民國ニ存在スル既成ノ事項ニシテ本條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキ本條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的ニ調整セラルベシ

戰爭狀態繼續中ト雖モ情況之ヲ許スニ應ジ逐次兩國間ノ協議ニ依リ本條約ノ趣旨ニ準據シテ所要ノ調整ヲ行フモノトス

本官ハ閣下ニ於テ前記了解ヲ確認セラレンコトヲ希望致候  
本官ハ茲ニ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

中華民國 年 月 日 二於テ

IMT 458

416

REEL No. A-1209

415

2382

(往輪)

以書翰啓上致候陳者本日附貴輪ヲ以テ左記ノ趣御申越相成敬承致候

本日中華民國日本國間同盟條約ニ署名スルニ當リ本官ト閣下トノ間ニ左ノ了解成立致候

現ニ中華民國ニ存在スル既成ノ事項ニシテ本條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ兩國間ノ全般  
的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキ本條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的ニ調整セラルベシ

戰爭狀態繼續中ト雖モ情況之ヲ許スニ應ジ逐次兩國間ノ協議ニ依リ本條約ノ趣旨ニ準據シテ所要  
ノ調整ヲ行フモノトス

本官ハ閣下ニ於テ前記了解ヲ確認セラレシコトヲ希望致候

本使ハ茲ニ前記了解ヲ確認致候

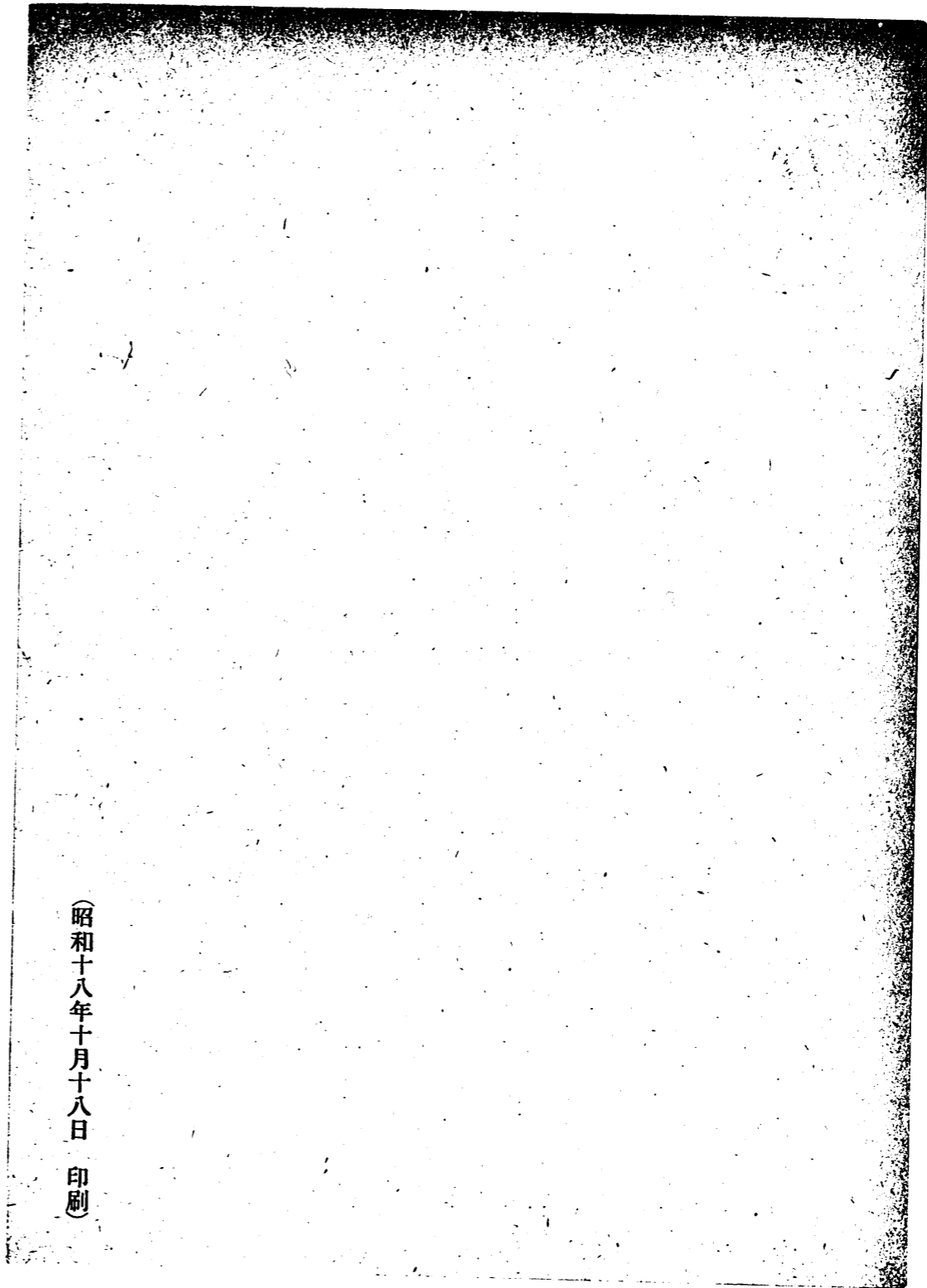
右回答旁本使ハ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

昭和 年 月 日 於テ

IMT 458

417

REEL No. A-1209



(昭和十八年十月十八日 印刷)

REEL No. A-1209

4/6

2282

極秘

昭和十八年十月

日本國中華民國間同盟條約說明書

外務省條約局

IMT 458

418

REEL No. A-1209

0230

アジア歴史資料センター

417

2382

目 次

第一章 本條約締結ノ由來	一頁
第二章 本條約ノ逐條説明	二
第一部 條約	二
第二部 附屬議定書	五
第三部 交換公文	五

IMT 458

419

REEL No. A-1209

4/8

第一章 本條約締結ノ由來

帝國政府ハ舊ニ國民政府參戰ヲ以テ日華間局面打開ノ一大轉機トシ日華提携ノ根本方針ニ則リ專ラ國民政府ノ政治力ヲ強化スルト共ニ重慶抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ真ニ更新支那ト一體戰爭完遂ニ邁進スベキ旨及世界戦局ノ推移ト睨合セ米英側反攻ノ最高潮ニ達スルニ先チ右ニ基ク對支諸施策ノ結實ヲ圖ルベキ旨ヲ決定シ次デ昭和十八年五月三十一日御前會議ニ於テ前記根本方針ノ徹底具現ヲ圖ル爲右ニ即應スル如ク日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ヲ改訂シ日本國中華民國間同盟條約ヲ締結スルノ方針ヲ決定スル所アリ東條內閣總理大臣ハ六月十六日第八十二帝國議會ニ於テ帝國ハ中華民國ニ對シテ今後愈々之ヲ支援スルノ決意ヲ深クシ進ンデ日華間ノ條約ニ根本的ナル改訂ヲ加ヘ兩國ノ協力態勢ニ更ニ一步ヲ進メントスル旨ヲ言明スル所アリタリ

爾後帝國政府ハ右ノ方針ニ遵ヒ慎重審議ヲ遂ゲタル後諸般ノ考慮ヨリ本件條約ヲ速ニ締結スルコトヲ適當ト認メ中華民國政府ト交渉ノ結果今般條約、附屬議定書及交換公文ノ案文ノ妥結ヲ見ルニ至レリ

479

第二章 本條約ノ逐條説明

本條約ハ條約、附屬議定書及交換公文ノ三部ヨリ成ル

第一部 條約

前文

前文ニ於テハ大日本帝國政府及中華民國國民政府ハ兩國相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ緊密ニ協力シテ道義ニ基ク大東亞ヲ建設シ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ之ガ障害タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ本條約ヲ協定セル旨ヲ述ブ

第一條

第一條ニ於テハ日本國及中華民國ハ兩國間ニ永久ニ善隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ各般ニ互リ互助救護ノ手段ヲ講ズベキ旨ヲ定ム

本條ハ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約第一條ニ相應スルモノニシテ同條ヲ簡潔ニ書改メタルモノナリ

第二條

第二條ニ於テハ日本國及中華民國ハ大東亞ノ建設及安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協力シ有ラユル援助ヲ爲スベキ旨ヲ定ム  
本條ハ本同盟條約ノ義務ノ核心ヲ爲スモノニシテ兩國ノ大東亞ノ建設及大東亞ノ安定確保ノ爲ノ緊密ナル協力及援助義務ヲ定メタルモノナリ

第三條

第三條ニ於テハ日本國及中華民國ハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベキ旨ヲ定ム

本條ハ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約第六條ニ相應スルモノニシテ經濟提携ノ原則ヲ簡潔ニ規定セルモノナリ

第四條

第四條ニ於テハ本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ兩國當該官憲間ニ協議決定セラレベキ旨ヲ定ム

第五條

第五條ニ於テハ昭和十五年十一月三十日即チ中華民國二十九年十一月三十日調印ノ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ハ其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノナル旨ヲ定ム

三

479

422

第二部 附屬議定書

前文

前文ニ於テハ日本國中華民國同盟條約ニ署名スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ通協定シタル旨ヲ述ブ

第一條

第一條ニ於テハ日本國ハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態終了シタルトキハ中華民國領域内ニ派遣セラレタル日本國軍隊ヲ撤去スベキコトヲ約スルト共ニ日本國ハ北清事變ニ關スル北京議定書及關係書類ニ基ク駐兵權ヲ拋棄スル旨ヲ定ム

本條ハ日本國中華民國基本關係ニ關スル條約附屬議定書第三條ニ相應スルモノナルモ防共、治安、約定等ニ基ク駐屯ノ留保ヲ存セズ

第二條

第二條ニ於テハ本議定書ハ條約ト同時ニ實施セララルベキ旨ヲ定ム

第三部 交換公文

本交換公文ハ兩國全權委員ガ日本國中華民國同盟條約ニ署名スルニ當リ其ノ間ニ現ニ中華民國ニ存

五

423

本條ニ依リ廢棄セララルベキ文書左ノ通

(一) 公表セルモノ

日本國中華民國基本關係ニ關スル條約

附屬議定書

附屬議定書ニ關スル日華兩國全權委員間了解事項

(二) 公表セザリシモノ

附屬秘密協約

附屬秘密協定

秘密交換公文 (甲)

秘密交換公文 (乙)

尙日本國中華民國基本關係ニ關スル條約ト同時ニ關印セラレタル日滿華共同宣言ハ素ヨリ其ノ效力ニ影響ナシ

又本年一月九日關印ノ日華共同宣言ハ其ノ效力ヲ存續スルモノトス

第六條

第六條ニ於テハ本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セララルベキ旨ヲ定ム



2382

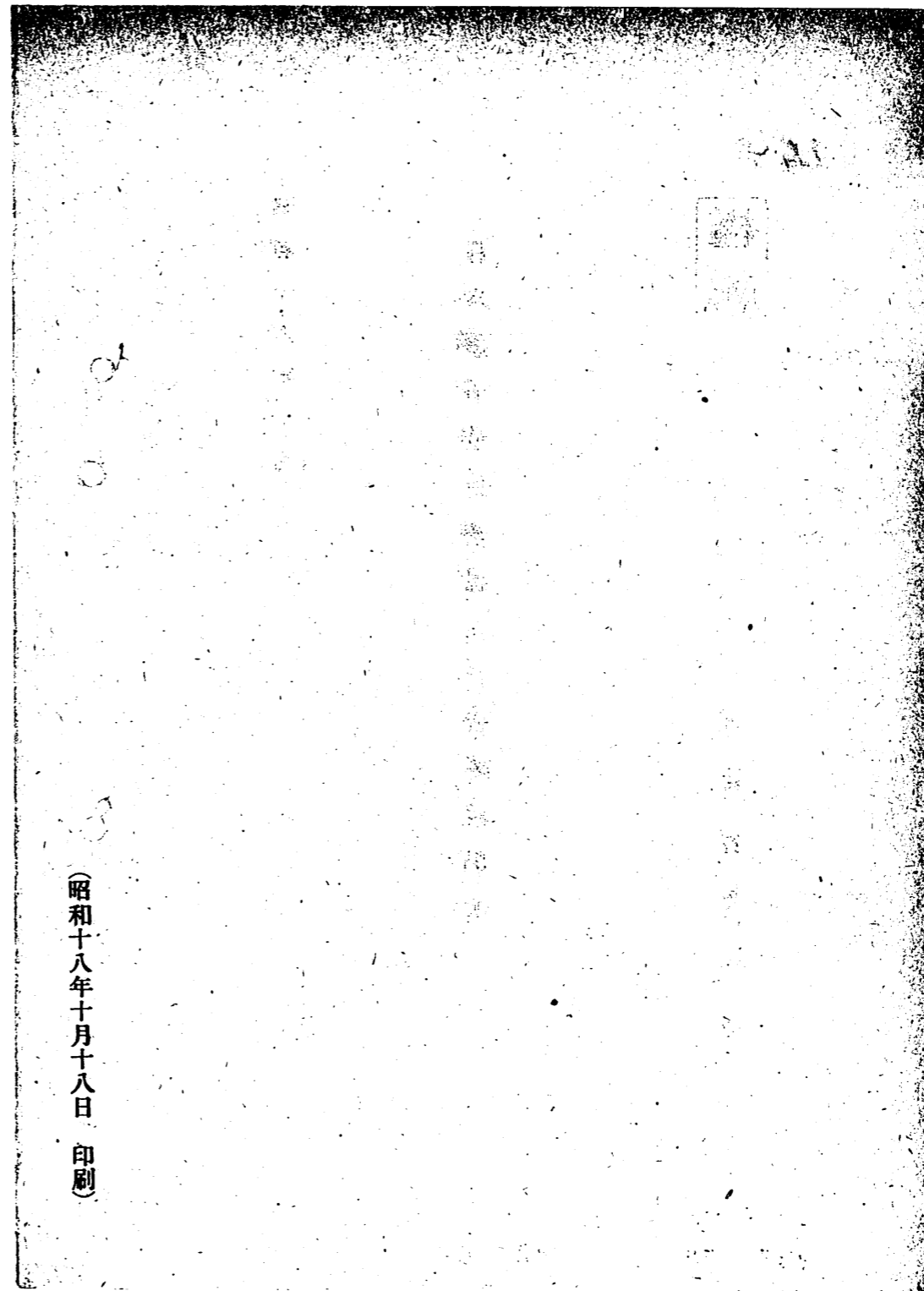
423

在スル既成ノ事項ニシテ本條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭狀態  
 終了シタルトキ本條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的ニ調整セラルベキ旨竝ニ戰爭狀態繼續中ト雖モ情況之  
 フ許スニ應ジ逐次兩國間ノ協議ニ依リ本條約ノ趣旨ニ準據シテ所要ノ調整ヲ行フモノトスル旨ノ了解  
 成立シタルコトヲ確認セントスルモノナリ  
 本交換公文ハ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約附屬議定書第一條及第二條竝ニ附屬議定書ニ關  
 スル日華兩國全權委員間了解事項等ニ相應スルモノナリ

IMT 458

425

REEL No. A-1209



(昭和十八年十月十八日 印刷)

REEL No. A-1209



2382

424

政務局第一〇〇一

極秘

中華民國日本國間同盟條約

IMT 458

426

REEL No. A-1209

アジア歴史資料センター

429

2382

### 中華民國日本國間同盟條約

大中華民國國民政府及大日本帝國政府

期望兩國互為善鄰尊重其自主獨立並緊密協力而建設以道義為基礎之大東亞俾貢獻於世界全體之和平並  
堅定決心剷除對此有障害之一切禍根協定如左

第一條 中華民國及日本國為永久維持兩國間善鄰友好之關係應互相尊重其主權及領土並於各方面講求  
互助敦睦之方法

第二條 中華民國及日本國為建設大東亞並確保其安定起見應互相緊密協力儘量援助  
第三條 中華民國及日本國應以互惠為基實行兩國間緊密之經濟提携

第四條 為實施本條約所必要之細目應由兩國該管官憲間協議決定之  
第五條 自本條約實施之日起中華民國二十九年十一月三十日即昭和十五年十一月三十日簽訂之關於中  
華民國日本國間基本關係條約連同其一切附屬文書一併失效

第六條 本條約自簽字之日起實施之  
下列簽字者各奉本國政府正當之委任將本條約簽字蓋印以昭信守

IMT 458

427

REEL No. A-1209

429

2382

2382

426

附屬議定書

當本日簽訂中華民國日本國間同盟條約時兩國全權委員議定如左

第一條 日本國約定於兩國間恢復全面和平戰爭狀態終了時撤去其派在中華民國領域內之日本國軍隊

日本國根據北清事變北京議定條款及其有關之文書所有之駐兵權概予放棄

第二條 本議定書應與條約同時實施之

為此兩國全權委員將本議定書簽字蓋印以昭信守

中華民國 年 月 日 訂於  
昭和 年 月 日 訂於  
以中文及日文各繕本議定書二份

中華民國 年 月 日 訂於  
昭和 年 月 日 訂於

以中文及日文各繕本條約二份

IMT 458

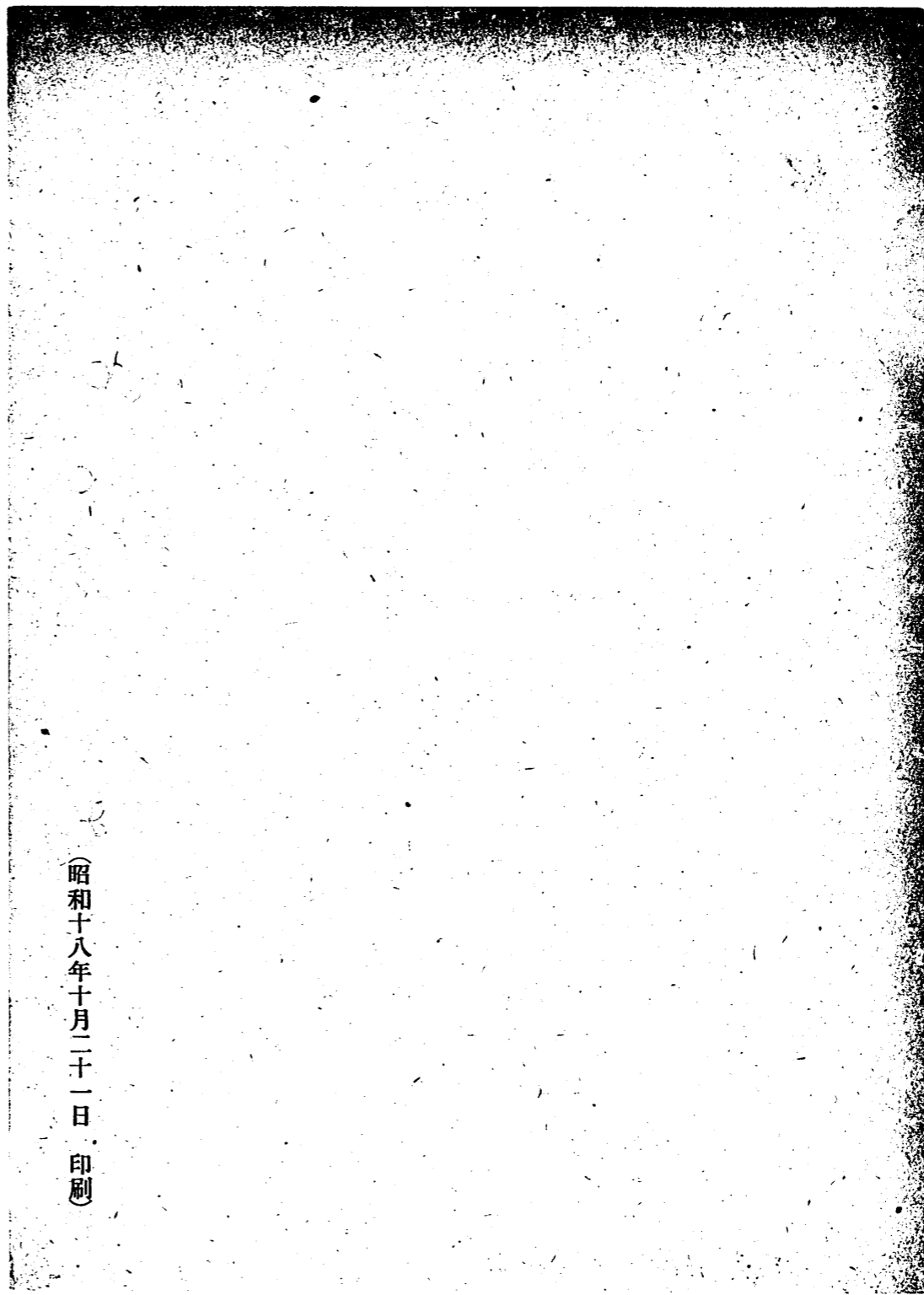
429

IMT 458

428

REEL No. A-1209

アジア歴史資料センター



(昭和十八年十月二十一日印刷)

REEL No. A-1209

0240

アジア歴史資料センター

428

2382

政務官第一課長

極秘

交  
換  
公  
文

INT 458

430

REEL No. A-1209

0241

アジア歴史資料センター

429

2382

(來翰)

逕啓者當本日簽訂中華民國日本國同盟條約時本院長與  
貴大使間成立了解如左

現在中華民國所存既成事項如鑑於本條約之旨趣須要調整者應於兩國間恢復全面和平戰爭狀態終了時  
準據本條約之旨趣加以根本的調整

雖在戰爭狀態繼續中應按照情形所許逐次由兩國間協議準據本條約之旨趣加以所要之調整

上述了解應請

貴大使查照予以確認為荷本院長願向

貴大使表示敬意此致

中華民國

年

月

日於

INT 458

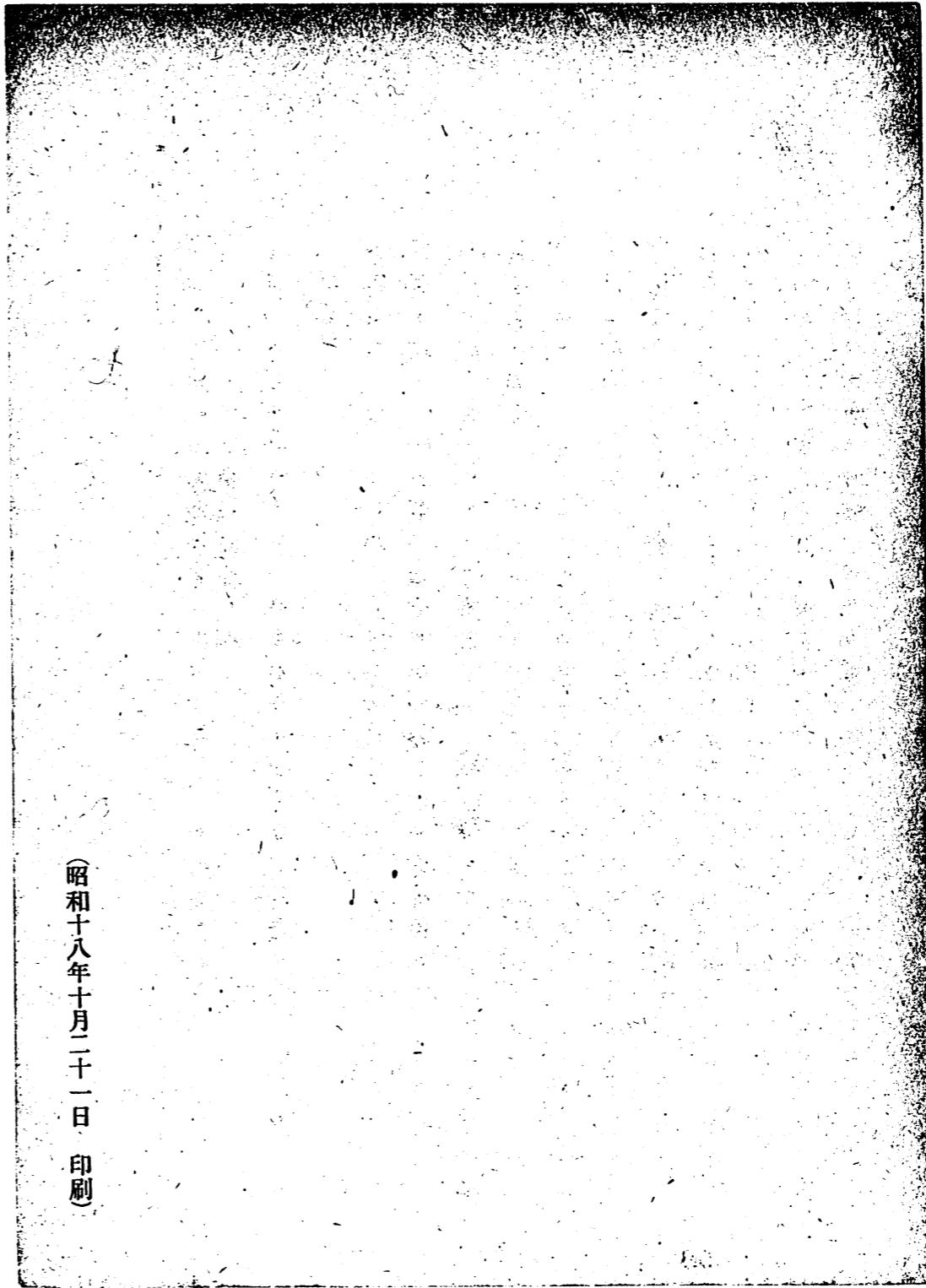
431

REEL No. A-1209

0242

アジア歴史資料センター



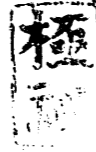


昭和十八年十月二十一日印刷

REEL No. A-1209

0243

アジア歴史資料センター



430

樞密院審査委員會ニ於ケル外務大臣ノ日本國中華  
民國間同盟條約説明書  
今因御諮詢ニ相成リマシタ日本國中華民國間同盟條約締結ノ件ニ付  
御説明申上ゲマス  
帝國政府ハ爾ニ國民政府ノ參戰ヲ以チマシテ日華間局面打開ノ一大  
轉機ト致シ日華提携ノ根本方針ニ則リ専ラ國民政府ノ政治力ヲ強化  
スルト共ニ羣衆抗日ノ根據名目ノ覆滅ヲ圖リ眞ニ更新支那ト一體戰  
争完遂ニ邁進スヘキ旨及世界輿論ノ推移ト配合セテ英獨反政ノ波瀾  
劇ニ逐スルニ先チ右ニ基ク對支暗施策ノ結實ヲ圖ルベキ旨ヲ決定致  
シ次テ昭和十八年五月三十一日御前會議ニ於キマシテ前記根本方針  
ノ徹底具現ヲ圖ル爲石ニ附懸スル如ク日本國中華民國間基本關係ニ  
關スル條約ヲ改訂シ日本國中華民國間同盟條約ヲ締結スルノ方針ヲ  
決定スル所カアリマシタ東條内閣總理大臣ハ右ニ基キマシテ六月十  
六日第八十二帝國議會ニ於テ中華民國ハ今ヤ完全ナル自主獨立ノ融  
豕トシテ帝國ト相携ヘテ大東亞ノ建設ニ奇與スル所大ナルモノガア

外務省

CH本標準規格B5

IMT 458

432

431

ラウト致シマシテ居リマスル處帝國ハ中華民國ノ興隆ヲ衷心祝福ス  
ルト共ニ今後越々之ヲ支援スルノ決意ヲ深クシ進ンテ日華間ノ條約  
ニ根本的ナル改訂ヲ加ヘ兩國ノ協力態勢ニ更ニ一歩ヲ進メントスル  
趣旨ヲ表明サレタ次第デアリマス  
爾後帝國政府ハ右ノ方針ニ逐ヒマシテ慎重審議ヲ遂ゲマシタル後諸  
般ノ考慮ヨリ本件條約ヲ速ニ締結スルコトヲ適當ト認メマシテ中華  
民國政府ト交渉ノ結果今茲本條約、附屬議定書及交換公文ノ案文ノ  
妥結ヲ見ルニ至ツタ次第デアリマス  
本條約ハ條約、附屬議定書及交換公文ノ三部ヨリ成ツテ居リマシテ  
本條約ノ前文ニ於キマシテハ大日本帝國政府及中華民國國民政府ハ  
兩國相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ緊密ニ協力シテ道  
義ニ基ク大東亞ヲ建設シ以テ世界全般ノ平和ニ貢獻センコトヲ期シ  
之ガ肇壽タル一切ノ禍根ヲ芟除スルノ確乎不動ノ決意ヲ以テ本條約  
ヲ協定セル旨ヲ述ベルモノデアリマス

外務省

CH本標準規格B5

IMT 458

433

433

2382

第一條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ兩國間ニ永久ニ睦隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講スベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第二條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ大東亞ノ建設及安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協力シ有ラユル援助ヲ爲スベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第三條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第四條ニ於キマシテハ本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ附屬該旨意間ニ協議決定セラルベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第五條ニ於キマシテハ昭和十五年十一月三十日即チ中華民國二十九年十一月三十日調印ノ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ハ其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノナル旨ヲ定ムルモノデアリマス

第六條ニ於キマシテハ本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

附屬該定書ノ前文ニ於キマシテハ日本國中華民國間關係ニ署名スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ通協定シタル旨ヲ述ブルモノデアリマス

第一條ニ於キマシテハ日本國ハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭ヲ終了シタルトキハ中華民國領域内ニ設置セラレタル日本國軍隊ヲ撤去スベキコトヲ約シマスルト共ニ日本國ハ北滿華蒙ニ關スル北京議定書及關係書類ニ基ク駐兵權ヲ放棄スル旨ヲ定ムルモノデアリマス

第二條ニ於キマシテハ本議定書ハ條約ト同時ニ實施セラルベキ旨ヲ

外務省

日本標準規格B5)

IMT 458

435

432

2382

第一條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ兩國間ニ永久ニ睦隣友好ノ關係ヲ維持スル爲相互ニ其ノ主權及領土ヲ尊重シツツ各般ニ互リ互助敦睦ノ手段ヲ講スベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第二條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ大東亞ノ建設及安定確保ノ爲相互ニ緊密ニ協力シ有ラユル援助ヲ爲スベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第三條ニ於キマシテハ日本國及中華民國ハ互惠ヲ基調トスル兩國間ノ緊密ナル經濟提携ヲ行フベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第四條ニ於キマシテハ本條約ノ實施ノ爲必要ナル細目ハ附屬該旨意間ニ協議決定セラルベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

第五條ニ於キマシテハ昭和十五年十一月三十日即チ中華民國二十九年十一月三十日調印ノ日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約ハ其ノ一切ノ附屬文書ト共ニ本條約實施ノ日ヨリ效力ヲ失フモノナル旨ヲ定ムルモノデアリマス

第六條ニ於キマシテハ本條約ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベキ旨ヲ定ムルモノデアリマス

附屬該定書ノ前文ニ於キマシテハ日本國中華民國間關係ニ署名スルニ當リ兩國全權委員ハ左ノ通協定シタル旨ヲ述ブルモノデアリマス

第一條ニ於キマシテハ日本國ハ兩國間ノ全般的平和克復シ戰爭ヲ終了シタルトキハ中華民國領域内ニ設置セラレタル日本國軍隊ヲ撤去スベキコトヲ約シマスルト共ニ日本國ハ北滿華蒙ニ關スル北京議定書及關係書類ニ基ク駐兵權ヲ放棄スル旨ヲ定ムルモノデアリマス

第二條ニ於キマシテハ本議定書ハ條約ト同時ニ實施セラルベキ旨ヲ

外務省

日本標準規格B5)

IMT 458

434

REEL No. A-1209

449

極秘

2382

日本の要約の傍に三つある  
 帝國政府聲明(案)  
 昭和十八年七月二十五日  
 第一號云

帝國政府ハ本年三月十日中華民國國民政府トノ間ニ「日本國中華民國間同盟條約」ヲ締結セリ右同盟條約締結ノ結果昭和十五年十一月三十日  
 由請印「日本國中華民國間基本關係ニ關スル條約」及其ノ附屬文  
 書ハ其ノ效力ヲ失フト共ニ日華間ノ條約關係ハ  
 ルニ至レリトス  
 三劃期的

幾ニ帝國政府ハ本年一月九日聲明ヲ以テ大東亞戰爭發生後ノ新事態  
 ニ即應スル帝國ノ對華方針ニ關シ所信ヲ闡明スル所アリタルカ右聲  
 明ニ於テ中華民國ニ於ケル一切ノ帝國專管租界ノ還付、上海共同租

大東亞省

IMT 458

437

444

2382

定ムルモノデアリマス  
 本交換公文ニ於キマシテハ兩國全權委員ガ日本國中華民國間同盟條  
 約ニ署名スルニ當リ其ノ間ニ現ニ中華民國ニ存在スル既成ノ事項ニ  
 シテ本條約ノ趣旨ニ鑑ミ調整ヲ要スルモノハ兩國間ノ全般の平和克  
 復シ戰爭狀態終了シタルトキ本條約ノ趣旨ニ準據シテ根本的ニ調整  
 セラルベキ旨竝ニ戰爭狀態繼續中ト雖情況之ヲ許スニ應ジ逐次兩國  
 間ノ協議ニ依リ本條約ノ趣旨ニ準據シテ所要ノ調整ヲ行フモノトス  
 ル旨ノ了解成立シタルコトヲ確認セントスルモノデアリマス  
 何卒宜敷ク御審議ノ程御願ヒ致シマス

外務省

IMT 458

436

REEL No. A-1209

0246

アジア歴史資料センター

界厦門共同租界及北京公使館區域回收ノ承認、治外法權ノ撤廢等ヲ  
 斷行スルノ外各般ニ亙リ有ラユル好意的措置ニ出テ以テ極力新中國  
 ノ建設ヲ支援スルニ決シタル旨ヲ明カニスルト共ニ更ニ日華新關係  
 ノ發展ニ照應シ既存ノ諸約定ニ付テモ新ナル考慮ヲ加フキヨ  
 ヘタリ爾來帝國ハ右聲明ニ於テ言明セル所ヲ着々如ク行フニ移シ  
 以テ中國ノ自主獨立ト國民政府ノ政治力發揮トヲ根柢トシ新中國  
 ノ速ナル建設ヲ極力支援シ來レル

於テ言明セル所ヲ實行セキモノニ外ナラズ

我國民政府亦之ニ呼応シテ自強ノ途ヲ備ヘテ我々協力  
 ヲ豫化シ日華新關係ハ順擴充發展ヲ見ルニ至レリ

大東亞省

IMT 458 438

惟ノニ大東亞戰爭發生ノ前後ヲ劃シテ大東亞ノ形勢ハ激變スルニ至  
 レリ即チ本戰爭發生前ニ於テハ大東亞ニ於テ米英ノ地盤甚シク而シ  
 テ帝國ハ日華間ノ條約關係ヲ設想スルニ當リテモ石米英地盤ノ事實  
 ヲ無視スルヲ待サル事情ニ置カレタリ然ルニ大東亞戰爭發生後ニ於  
 テハ大東亞ヨリ米英ノ勢力一掃セラレ國民政府亦米英ニ對シ宣戰ス  
 ルニ至リ日華新關係ハ一新ニシテ日華兩國ハ具ノ條約關係  
 ニ付テモ新關係ニ即應スル如ク之ヲ調整スルヲ中興ノ適當トスルニ  
 主レリ之レ即チ今次新條約ノ締結ヲ見ルニ至レル所以ナリ

帝國ハ既ニ滿洲國及「タイ」國並ニ新生ノ友邦「ヒルマ」國及「ソ  
 イリピン」國ト道義ヲ基調トスル緊密ナル協力關係ヲ確立シ今又中

大東亞省

IMT 458 439

479

極秘

2382

478

2382

華民國トノ間ニ兩國提携ノ新ナル基礎ヲ確立スルニ主ル期クテ大東  
 亞ニ於テ各國ノ共存共榮ヲ確保スヘキ新秩序ヘ着々トシテ進取セフ  
 レツツアリ  
 帝國政府ハ日華新條約ノ根本精神ニ則ル兩國關係ノ劃期的發展ヲ期  
 待スルト共ニ中國ノ自主獨立ノ完成ニ對シテハ今後モ有フユル支援  
 ヲ惜シマサルモノナリニシテ而モ相携ヘテ大東亞戰爭ヲ  
 完全ニ大東亞新秩序ノ建設ニ邁進セシムトヲ期シ  
 此後ニ希冀ノ所信ヲ中外ニ声明ス

大東亞省

IMT 458 440

日華日同盟条約の條約 (一六二五) 第一條  
 首 相 陸 一 策  
 本日日華兩國間ニ一日本國中華民國間關係條約「カ締結セラレ劃期  
 的日華新關係ノ基礎カ確立セラレタコト」ハ日華兩國ニトツテ眞ニ慶  
 賀スヘキコトテアルト共ニ大東亞新秩序ノ建設ニ更ニ一歩ヲ進ムルモノト  
 シテ重視深キモノカアル

東亞諸國カ相互ニ善隣トシテ具自主權ヲ尊重シツツ密着ニ協力シテ  
 進取ニ基ク大東亞新秩序ヲ以テ世界全盤ノ平和ニ貢獻セシムトハ帝  
 國カ多年夙念シ來ツタ所テアルカ本英ノ東亞制覇ノ野望ト異なり  
 利益保持第一ノ東亞諸民族離間ノ障礙ハ之カ實績ヲ阻害シ來ツタノ

大東亞省

IMT 458 441

REEL No. A-1209

451

2382

而シテ本條約ノ調印、未キニ至リテ、昭和十五年十一月三十日調印ノ一日、  
 本國中華民國間基本條約ニ關スル條約ハ其一切ノ附屬文書ト共ニ  
 效力ヲ失フコト、トシテ、ソノアナル基本關係ニ關スル條約ノ締結當時  
 于於才ハ向米英勢力カ弱シニ、其功利的策動ニ對シテ、  
 必妥キ考慮ヲササルヲ得ナイ状態ニテ、オアアルカ大東亞戰爭ノ勃  
 發、殊ニ中華民國ノ對米英直戰以來事情ハ激變シタリ、オアアル帝國ハ中  
 國ノ宣戰ト共ニ日英提携ノ根本精神ニ則ル兩國關係ノ劃期的發展ヲ  
 期待シ、<sup>李氏</sup>未<sup>ニ</sup>中國ノ自主獨立ト國民政府ノ政治力發揮ヲ根基トス  
 ル新中國ノ速カナル建設ヲ冀念シ租界返還、治外法權ノ撤廢ヲ實施  
 スル等各段ニ亙リ有ユル好意的措置ヲアシ來ツタノアアルカ米英勢

大東亞省

IMT 458

443

450

2382

テアル帝國カ雖然起シテ米英勢力ノ直チナ以來帝國ハ維乎不勳  
 ノ決意ヲ以テ戰爭ノ完遂ト戰争ノ終局自カク新東亞ノ建設ニ邁進  
 シ新中國ノ建設、「ビルマ」及「ソイリピン」ノ獨立、「タイ」國  
 領土<sup>大</sup>等ニヨユル協力ヲナシ來リ今ヤ東亞ノ復興ハ指ヤト進歩ス  
 本條約ハ期ノ如キ東亞ノ新發展ニ由ルニ日華<sup>大</sup>兩國ノ<sup>本條約ノ關係</sup>協  
 セントスルモノテアツテ日華兩國ノ永久友好關係ト大東亞建設<sup>ト</sup>及  
 進歩ノ宗典ナル共同使命達成ノ礎石タルモノテアル

大東亞省

IMT 458

442

REEL No. A-1209





455

2382

大東亞省

惟フニ大東亞戰爭發生ノ事俾テ劃シテ大東亞ノ形勢ハ激變スルニ至リ

途ヲ講シ戰爭協力ヲ強化シ日華新關係ハ順調ナル發展ヲ見ルニ至レ

ノ速ナル建設ヲ極力支援シ來リテ應國民政府亦之ニ呼應シテ自國ノ

以テ中國ノ自主獨立ト國民政府ノ政治力發揮トヲ根基トスル新中國

トクニ備來帝國ヘ右聲明ニ於テ聲明セル所ヲ着々如實ニ實行ニ移シ

イ發展ニ照應シ此存ノ諸約定ニ付テ新ナル考慮ヲ加フヘキ旨ヲ達

イ建設ヲ支援スルニ決シタル旨ヲ明カニスルト共ニ更ニ日華新關係

斷行スルノ外各般ニ直リ有テニル好意的措置ニ出テ以テ極力新中國

界厦門共兩租界及北京公使館區域國收ノ承認・活外法權ノ撤廢等ヲ

IMT 458

447

457

2382

大臣  
次官  
政務局  
第二課長

大東亞省

明ニ於テ中華民國ニ於テ一切ノ帝國專管租界ノ還付・上海共兩租

ニ即應スル帝國ノ對華方針ニ關シ所信ヲ闡明スル所アリタルヲ右聲

義ニ帝國政府ヘ本年一月九日聲明ヲ以テ大東亞戰爭發生後ノ新事

間ノ條約關係ハ茲ニ劃期的發展ヲ見ルニ至レリ

本關係ニ關スル條約」及其ノ附屬文書ヘ其ノ效力ヲ失フト共ニ日華

同盟條約」ヲ締結セリ右同盟條約締結ノ結果「日本國中華民國間

帝國政府ヘ本三十日中華民國國民政府トノ間ニ「日本國中華民國間

帝國政府聲明（案）

IMT 458

446

政務局長

要再回

第一課長

昭和十八年十月二十七日  
大本營政府連絡會議了解案

手係者ニ於テ  
三十一日

457

2382

イリピン」國ト道義ヲ基調トスル緊密ナル協力關係ヲ確立シ今又中華民國トノ間ニ兩國提携ノ新ナル基礎ヲ確立スルニ至ル斯クテ大東亞ニ於テ各國ノ共存共榮ヲ確保スヘキ新秩序ヘ邁進セシメテ建設セラレツツアリ

帝國政府ヘ日華新條約ノ根本精神ニ則ル兩國關係ノ劃期的發展ヲ期待スルト共ニ中華民國ノ自主獨立ノ完成ニ到シテハ今後モ有ラユル支援ヲ惜マサルモノニシテ兩國相携ヘテ大東亞戰爭ヲ完遂シ大東亞新秩序ヲ建設ニ邁進センコトヲ期シ茲ニ帝國政府ノ所信ヲ中外ニ聲明ス

大東亞省

IMT 458 449

456

2382

レリ即チ本戰爭發生前ニ於テ大東亞ニ於テ米英ノ跋扈甚ク南亞才帝國ヘ日華間ノ條約關係ヲ維持スルニ當リテモ有米英跋扈ノ事實ヲ無視スルヲ得サル事情ニ置カレタリ然ルニ大東亞戰爭發生後ニ於テ大東亞ヨリ米英ノ努力一掃セラレ國民政府亦米英ニ對シ直戰スルアリ日華兩國ヘ茲ニ過去一切ノ行弊リニ拘泥スルコトヲ善隣トシテ本然ノ姿ニ立還リ相携ヘテ大東亞ノ安定ヲ確保シ其ノ復興興隆ヲ圖ルヘキ兩國共同ノ使命ヲ達成センカ爲メ兩國ノ其ノ條約關係ニ付テモ新事象ニ即應スル如ク之ヲ調整スルヲ適當ト認ムルニ至レリ

レ即チ今次新條約ノ締結ヲ見ルニ至レル所以アリ

帝國ハ既ニ滿洲國及「タイ」國並ニ新生ノ「ビルマ」國及「フ

大東亞省

IMT 458 448

REEL No. A-1209

内閣議決

政務局長

第一課長

昭和十八年十月二十日  
大本營政府連絡會議了解案

テ修正

東條内閣總理大臣談(案)

本日日華兩國間ニ「日本國中華民國間同盟條約」カ締結セラレ創期  
 的日華新關係ノ基礎カ確立セラレタルコトハ日華兩國ニトツテ眞ニ  
 慶賀スヘキコトナアルト共ニ大東亞ノ建設ニ更ニ一步ヲ進ムルモノ  
 トシテ意義深キモノカアル

大東亞諸國カ相互ニ善隣トシテ其ノ自主獨立ヲ尊重シツツ緊密ニ協  
 カシテ道義ニ基ク共存共榮ノ秩序ヲ大東亞ニ建設シ以テ世界全般ノ  
 平和ニ貢獻センコトハ帝國カ多年冀念シ來ツタ所ナアルカ米英ノ東

大東亞省

IMT 458 450

459

米英の旧秩  
予大英並  
了排除セラ  
レ大英並

匪制覇ノ野望ト東亞諸民族離間ノ陰謀トハ之カ實現ヲ阻害シ來ツタ  
 ノナアル帝國カ米英ノ野望ヲ排除シ自存自衛ヲ爲シ然テテ起ツ  
 ニ至リテ是來帝國ノ不軌ノ決意ヲ以テ戰爭ノ完遂ト大東亞ノ建  
 設トニ邁進シ新中國ノ建設ヲ「ヒルム」及「ワイリピン」以テ獨立シ  
 △日英ノ親善關係ハ更ニ止メテ進メテ  
 ナリテアル氏ノアラスカニ於テ中華民族ハ  
 復興ハ増々ト進歩スルニ至ツタ不詳ノ一ルキイ如ク大東亞ノ新秩序ハ  
 本年ニ取テ米英ニ對シテ宣戦シ飽迄テ死スルニ至ルニ至リテ  
 本國ノ利益ヲ守ルニ至リテ死スルニ至ルニ至リテ死スルニ至リテ  
 共同戦線ヲ完成シテ米英ノ利益ヲ守ルニ至リテ死スルニ至リテ  
 大東亞ノ新秩序ハ

大東亞省

IMT 458 451

